

緊急企画 ～オンライン講演会～

## 「コアジサシから考える夢洲の生物多様性」

——絶滅のおそれのある渡り鳥、コアジサシの保護のために私たちは何ができるか——

日時：2020年6月20日（土）19時より

閉会は20時30分（予定）

講師：北村亘氏（東京都市大学准教授）

参加：100名先着順 参加費：無料

申込：入力フォームはこちら↓

<https://forms.gle/y17GTbUBxTt2emrP6>

※申込者にZoom会議室招待状を送ります。

主催：（公社）大阪自然環境保全協会

協力：NPO地域づくり工房



大阪・関西万博が開催される予定の夢洲は、最多で2000羽を超えるシギ・チドリが飛来、数千羽のホシハジロほかのカモ類が越冬し、希少な湿生植物が見られます。そのため、大阪府のレッドリストで生物多様性ホットスポットのAランクに指定されています。

（公社）大阪自然環境保全協会は、昨年度から、NPO地域づくり工房とともに、市民からの環境アセスメント提案に取り組み、独自に生きもの調査を実施してきました。

その結果、今年5月9日に約500羽のコアジサシが砂礫地で抱卵していることを確認しました。本種は河川敷や海岸の砂地などにコロニーを作って集団繁殖しますが、営巣に適した環境が減少していることから、環境省が平成26年「コアジサシ繁殖地の保全・配慮指針」を作成し、全国的に繁殖地の保全を進めています。

大阪・関西万博は持続可能な開発目標SDGsの達成をかかげており、その成功は、夢洲の自然環境の保全再生抜きには考えられません。私たちは、都市の自然環境の保全再生によって、大阪が世界に貢献できるよう最大限努力したいと考えています。

そこで、コアジサシの生態研究と保護活動を続けておられる、東京都市大学准教授の北村亘さんをお願いして、コアジサシ保護のために私たちに何ができるかをご講演いただくことにいたしました。この機会にぜひ、人間の創る都市環境と野生生物との共生を、コアジサシを通して考えてみませんか。

（公益社団法人大阪自然環境保全協会会長 夏原由博）

この企画は、2020年度「地球環境基金」（独立行政法人環境再生機構）の助成により開催いたします。

